

内閣委員会 答弁

- 内閣委員会（2022/05/24）
 - **こどものデータ連携**について、こどもに関する情報のプッシュ型の情報提供について
 - 質疑者：自見はなこ参議院議員（自由民主党）

今回のこども基本法の中の議論においても、またあるいは一般の国民からの皆様の意見の中でも、子どものデータについての取扱いというのをどうされるんだというような不安の声もありました。

一方で、我々が行ったお母さんたちの意見、四万八千件の中で、とにかく何度も同じ書類を書かせないでほしい、なんとかワンスオンリーにできないかという声もいただいた。

是非ともデジタル庁として明確なガイドラインというものを国が示すべきではないか



自見はなこ議員

内閣委員会 答弁

● 内閣委員会（2022/05/24）

- **こどものデータ連携について**、こどもに関する情報のプッシュ型の情報提供について
- 答弁者：山田太郎デジタル大臣政務官（自由民主党）



山田太郎
デジタル大臣政務官

本当に子どもたちは虐待あるいはいじめに遭った場合に声が上げられない。ただ、その端緒を何とかしてつかまなければいけないのだということで立ち上がったプロジェクトです。

個人情報保護法との壁、こういった情報をお互いの役所等含めて交換できるのか大変大きな議論になっております。

特に、NPO、NGOが参加しようと思った場合に、その辺りのガイドラインがしっかりしていないとなかなか情報を交換できない。子どもの自殺に関しても、虐待に関しても、子ども食堂の問題に関しても、非常に民間の方々は一生涯懸命やっていたらいますが、要対協の状況なんかを見てみると、その組織率は、極めて連携率は低いという課題があります。まさにこの**個人情報保護法における子どもの命とあるいは個々の情報の個人の連携、どういうふうバランスを取っていくのか、大変難しい問題**だというふうに思っております。そんな中、これに関しては**しっかりガイドラインを作っていく**ということ、その辺りの計画もしっかり今政府の方でさせていただいております。

特に、来年の四月から個人情報保護法に関しての地方自治体におけるいわゆる施策というのが新たな新法によって起こりますので、その前に、**年内を目途に、しっかりとしたその個人情報保護の観点と、それから子供たちの命を守るというところの連携を図る**ということの議論、そして、**ガイドラインのきちとした明示もさせていただきたい**ということを進めております。

内閣委員会 答弁

● 内閣委員会（2022/05/24）

- こどものデータ連携について、**こどもに関する情報のプッシュ型の情報提供について**
- 質疑者：自見はなこ参議院議員（自由民主党）
- 答弁者：山田太郎デジタル大臣政務官（自由民主党）

マイナポータルで取得できる事項、自分の情報様々書いているということで大きく利便性が向上するということも期待されております。

このプッシュ型の情報提供についてどういうお考えで進めていこうとされているのか



自見はなこ議員



山田太郎
デジタル大臣政務官

今、自見先生の方からもこの資料を提示していただいた
子育てワンストップサービス等を含めて、大変、子供たち、そしてそれを育てる親御さんたち
実は困難を抱えている方々にとっても大切な論点だというふうに思っております。

ネットでもって、あるいはポータルでもってサポートできないかということで、
子育てワンストップサービスということで、
マイナポータルを中心に今デジタル庁あるいは各関係府省庁と連携しながら
一生懸命進めて、何とかこういった困難を抱えている方々も含めて
子育ての方々に利便性向上ということを目指している部分。

困難を抱えている人たちにどうやって
利便性を高めるかということについてはしっかり対応していきたい